

(別添 1)

工事成績評定実施基準

(目的)

第1 本基準は、「請負工事成績評定要領」(平成21年3月31日国港技第105号の2。以下「評定要領」という。)第3第一号の工事成績の評定に関する事項を定めることにより、地方整備局が所掌する請負工事の適正かつ効率的な施工を確保し工事に関する技術水準の向上に資するとともに、請負業者の適正な選定及び指導育成を図ることを目的とする。

(対象工事)

第2 工事成績の評定(以下「成績評定」という。)の対象とする工事は、評定要領第2に規定された評定の対象工事のうち、地方整備局が発注する港湾工事、空港工事、海岸工事及びその他これらに類する工事とする。

(成績評定の時期)

第3 成績評定の時期は、総括技術評価職員及び主任技術評価職員にあっては工事が完了したとき、技術検査職員にあっては検査を実施したときとする。

(評定者)

第4 成績評定を行う者(以下「評定者」という。)は、総括技術評価職員及び主任技術評価職員並びに技術検査職員とする。

(成績評定の方法)

第5 成績評定は、工事ごと、評定者ごとに独立して行うものとする。
2 工事成績の採点は、別記様式第3「工事成績採点表」により行うものとする。
3 細目別評定点の算出は、別記様式第2「細目別評定点採点表」によるものとする。また、指定部分検査がある場合の合算は、別記様式第2-②「指定部分・完成検査の評定点合算表」によるものとする。
4 評定結果は、別記様式第1「工事成績評定表」に記録するものとする。
5 評定にあたっては、別紙-4の「記入方法及び留意事項」及び別紙-5「施工プロセスのチェックリスト」を考慮するものとする。また、工事における「工事特性」、「創意工夫」、「社会性等」に関しては、請負者は当該工事における実施状況を提出できるものとし、提出があった場合はこれも考慮するものとする。
6 共同企業体の構成員によって異なる指名停止等の措置をとった場合は、上記2～5の別記様式第1～3及び別紙-5を構成員毎に作成する。

(成績評定結果の報告)

第6 成績評定結果の報告は、工事の完成のときに行うものとし、評定者は、成績評定を行ったときは、遅滞なく支出負担行為担当官若しくは契約担当官又はこれらの代理官の契約した工事については、地方整備局長又は副局長若しくは次長(以下「局長等」という。)に、分任支出負担行為担当官又は分任契約担当官(以下「分任官」という。)の契約した工事については、当該工事を担当する事務所長(以下「事務所長」という。)に報告するものとする。
2 事務所長は、分任官の契約した工事について、速やかに局長等に報告するものとする。

(成績評定結果の通知)

第7 局長等又は事務所長は、別紙第1-1又は別紙第1-2「請負工事成績評定通知書」により、当該工事の請負者に通知するものとする。

2 評定要領第9に基づき評定を修正した場合は、前項の規定を準用する。

工事成績採点表〔完成、指定部分〕

平成 年 月 日 作成

地方整備局 事務所

検査の種類		完成・第 回指定部分																					
工事名		契約金額						検査金額															
請負者名		※9						工期		平成 年 月 日～平成 年 月 日						完成年月日		平成 年 月 日					
検査項目		主任技術評価職員					総括技術評価職員					技術検査職員(完成・指定部分)											
		氏名					氏名					氏名											
項目	細別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e			
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10																	
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10																	
2. 施工状況	I 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15			
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15										
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15										
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																	
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0								+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20			
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25			
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5				
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※2						+ 20.0 ~ 0																
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3	+7.0		~	0																		
6. 社会性等	I. 地域への貢献等						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0												
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		± 点					± 点					± 点											
評定点(65点±加減点合計) ※1		① 点					② 点					③ 点											
7.評定点計		点																					
8.法令遵守等 ※7		- 点																					
9.評定点合計 ※8		点																					
所見 ※5		(主任技術評価職員)					(総括技術評価職員)					(技術検査職員)											

※1 1～3の評定(65点±加減点合計) + 4, 5, 6の評定(加減点合計) - 8.の評定(減点) = 評定点
 各評定点(①～③)は少数第1位まで記入する。
 ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊・高度な技術、厳しい周辺環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、など)に対して適切に対応したことを評価する項目である。評価に際しては、主任現場監督員からの報告を受けて総括技術評価職員が評価するものとする。
 ※3 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。
 ※4 4., 5., 6.は加減点評価のみとする。また、法令遵守は、減点評価のみとする。
 ※5 所見は必ず記載する。
 ※6 各検査項目ごとの採点は、検査項目別運用表によるものとし、技術検査職員の評価に先立ち、主任、総括技術評価職員が行う。
 ※7 法令遵守等の評価は、総括技術評価職員が行う。
 ※8 評定合計は、四捨五入により整数とする。
 ※9 共同企業体の構成員によって異なる指名停止等の措置をとった場合は、構成員毎に工事成績評定表を作成する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

主任現場監督員

考査項目	細目	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	施工体制が適切である	施工体制がほぼ適切である	他の事項に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である □ 施工体制が不備であり、監督職員から文書により改善指示を行った。 上記該当あれば・・・e
		<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が施工体制台帳、施工体系図で確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質証明では(工事全般にわたり)確認項目を不足無く確認を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、船舶・機械配置の施工となっている。 <input type="checkbox"/> 緊急指示等に対する対応が速やかである。 <input type="checkbox"/> 下請けの作業成果に対して元請けの検査・検収が実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場に対する本・支店の支援体制が整っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで、指摘事項がなかった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <p>【「施工プロセス」チェックで以下の項目は、特段の評価できる。(特段の評価としない場合は評価対象外の項目とし削除する)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 工事カルテの登録は、監督職員の確認を受けた上で契約後(・変更後)・工事完成後10日以内に登録機関に申請されている。 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度の趣旨を作業員等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配付が受け払い簿等により適切に把握されている。 <input type="checkbox"/> 請負代金内訳書及び工程表が契約後(・変更後)14日以内に提出されている。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備され、変更が生じた際、その都度、速やかに提出されている。施工体系図も現場に掲げられ、現場と一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出されている。また、変更が生じた場合、その都度速やかに提出されている。 <p><input type="checkbox"/> その他 理由 :</p> <p>上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が80%以上・・・a 上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が60%以上、80%未満・・・b 上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が50%以上、60%未満・・・c 上記の施工プロセスでレ点が付されない、もしくは該当項目が50%未満・・・d</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

主任現場監督員

考 査 項 目	細 目	a	b	c	d	e
	II. 配置技術者 (現場代理人等)	技術者が適切に配置されてある	技術者がほぼ適切に配置されてある	他の事項に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である
		<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現場代理人等として、工事全体の把握ができています。 <input type="checkbox"/> 書類整理、資料整理が共通仕様書、諸基準に基づき適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準、施工管理基準を理解し、現場に反映して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は監督職員と協議する等必要な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 作業環境、気象・海象、地質条件等の困難克服に努めている。 <input type="checkbox"/> 下請の施工体制、施工状況を把握し、下請け及び部下の技術的指導を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 明確な根拠に基づいて主任技術者又は、監理技術者はその技術的判断を下している。 <input type="checkbox"/> 施工管理の作業分担が整理され、必要要員の選任・配置をしている。(追加) <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで、指摘事項がなかった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <p>【「施工プロセス」チェックで以下の項目は、特段の評価できる。(特段の評価としない場合は評価対象外の項目とし削除する)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督職員との連絡調整を書面等で行っている。 <input type="checkbox"/> 施工にあたり、創意工夫または提案をもって工事を進めている。 <input type="checkbox"/> 作業主任者を選任し配置している。 <input type="checkbox"/> 専門工事については専門技術者を専任し、配置している。 <input type="checkbox"/> 港湾工事等潜水作業従事者を適正に配置している。 <input type="checkbox"/> 港湾工事等海上起重作業船団長を適正に配置している。 <p><input type="checkbox"/> その他 理由 :</p>			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現場代理人等の技術者配置が不備で、監督職員から文書により改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 専門技術者が配置されていない。 <p>上記1項目でも該当あれば・・・d 2項目以上該当あれば・・・e</p>	
		<p>上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が80%以上……………a 上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が60%以上、80%未満……………b 上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が50%以上、60%未満……………c 上記の施工プロセスでレ点が付されない、もしくは該当項目が50%未満……………d</p>			<p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値() (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

主任現場監督員

考査項目	細目	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が適切である	施工管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である	
		<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響がないよう保管・管理されている。 <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理が設計図書及び施工計画書に基づき適時、的確に行われている。 <input type="checkbox"/> 日常の品質管理が設計図書及び施工計画書に基づき適時、的確に行われている。 <input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓が日常的になされている。 <input type="checkbox"/> 使用材料等の品質保証書等及び工事記録写真等が適切に整理されている。 <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が不足無く整理されている。 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物、一般廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切にされている。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対する対応が適切になされている。 <input type="checkbox"/> 廃棄物の減量化の取り組みがなされている。 <input type="checkbox"/> 現場に適応した作業船、機械が配置されている。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで、指摘事項がなかった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <p>【「施工プロセス」チェックで以下の項目は、特段の評価できる。(特段の評価としない場合は評価対象外の項目とし削除する)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 契約書18条第1項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行い、監督職員の確認を受けて施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制等が一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の記載内容が設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。 <input type="checkbox"/> 品質管理確保のための対策など施工に関する工夫がなされている。 <input type="checkbox"/> 現場でのイメージアップに積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 材料・施工状況検査、立会確認の手続きが事前になされている。 <input type="checkbox"/> 工事全体における使用機械、車両等は設計図書に基づく低騒音、排出ガス対策機械を使用している。 <p><input type="checkbox"/> その他 理由 :</p>			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により改造請求を行った。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出されていない。 <input type="checkbox"/> 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、監督職員から文書により改善指示を行った。 <p>上記1項目でも該当あれば……d 2項目以上該当あれば……e</p>		
		<p>上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が80%以上……a 上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が60%以上、80%未満……b 上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が50%以上、60%未満……c 上記の施工プロセスでレ点が付されない、もしくは該当項目が50%未満……d</p>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値() % = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

主任現場監督員

考査項目	細目	a	b	c	d	e
	II. 工程管理	工程管理が適切である	工程管理がやや適切である	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
		<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 時間制限・片側交互通行・作業船舶航行等の各種制約への対応が適切で工程の遅れがなかった。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程表の内容が検討され充実されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程に与える要因が的確に把握され、それらを反映した工程表が作成されている。(追加)</p> <p><input type="checkbox"/> 適切な工程管理により工程の遅れがなかった。(追加)</p> <p><input type="checkbox"/> 計画工程以外の夜間、休日作業はほとんど無く工程管理が行われている。(追加)</p> <p><input type="checkbox"/> 作業船、機械、労務の適切な配置により工程の遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 気象海象予測情報を入力し、作業実施日の判断をしていた。</p> <p><input type="checkbox"/> 主作業時には、短期間のタイムスケジュールを作成し、適切な管理が行われている。(ケーソン据付、コンクリート打設、回航など)</p> <p><input type="checkbox"/> 航路や漁業区域に隣接し、船舶の入出港や操業時期の規制など、各種制約への対応が適切で大きな工程の遅れがなかった。</p> <p><input type="checkbox"/> 関連工事等と積極的に調整を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 優秀な工程管理の結果、工期の短縮が可能となった</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで、指摘事項がなかった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p>【「施工プロセス」チェックで以下の項目は、特段の評価できる。(特段の評価としない場合は評価対象外の項目とし削除する)】</p> <p><input type="checkbox"/> 実施工程表を作成し必要に応じてフォローアップが行われ、工程を管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対する対応が迅速かつ適切で施工の停滞が見られない。</p> <p><input type="checkbox"/> 休日(代休含む)の確保を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由 :</p> <p>上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が80%以上……………a</p> <p>上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が60%以上、80%未満……………b</p> <p>上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が50%以上、60%未満……………c</p> <p>上記の施工プロセスでレ点が付されない、もしくは該当項目が50%未満……………d</p>			<p><input type="checkbox"/> 請負者の責により工期内に工事を完成させなかった。(但し、改善指示による場合を除く)</p> <p>上記該当あれば……e</p> <p><input type="checkbox"/> 自主的な工程管理がなされず、監督職員から文書により改善指示を行った。</p> <p>上記該当あれば……d</p>	
		<p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数</p> <p>④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

主任現場監督員

考 査 項 目	細 目	a	b	c	d	e	
	Ⅲ. 安全対策	安全対策を適切に行った	安全対策をほぼ適切に行った	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備であった	安全対策が不備であった	
		<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 安全教育・訓練等を4時間／月以上実施し、実施記録が整備されており、内容が充実している。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に当該工事の現場特性が反映されており、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 工事期間を通じ、労働災害等の発生がなかった。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に積極的に取り組んでいる記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 工事現場における保安施設等の整備・設置・管理が各種基準及び関係者協議に基づき実施されている。 <input type="checkbox"/> 緊急時の体制及び対応と連絡体制が確立されている。(港湾独自項目) <input type="checkbox"/> 作業限界条件を設定し、気象海象状況を把握し、適切に安全に作業を実施している。 <input type="checkbox"/> 現場条件に対応した安全対策を施している。 <input type="checkbox"/> 海洋環境等に配慮し、公衆災害等への対策を施している。 <input type="checkbox"/> 台風接近時などにおける防災への対策が、適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 地震、津波時の避難場所、経路、誘導体制が確立されている。 <input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘事項がなかった。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで、指摘事項がなかった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <p>【「施工プロセス」チェックで以下の項目は、特段の評価できる。(特段の評価としない場合は評価対象外の項目とし削除する)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回／月以上活動し記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 店社パトロールを1回／月以上実施し記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告している。 <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY等を実施し記録を整備している。 <input type="checkbox"/> 使用船舶、機械、車両等の点検整備等がなされ管理され、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配備や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 山留め、仮締切等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 足場や支保工について、組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <p><input type="checkbox"/> その他 理由 :</p> <p>上記の施工プロセスで点が付され、かつ該当項目が80%以上……………a 上記の施工プロセスで点が付され、かつ該当項目が60%以上、80%未満……………b 上記の施工プロセスで点が付され、かつ該当項目が50%以上、60%未満……………c 上記の施工プロセスで点が付されない、もしくは該当項目が50%未満……………d</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>				<p><input type="checkbox"/> 安全対策の不備により重大な災害等を受けた。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば…e</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であった。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば…d</p>	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

主任現場監督員

考査項目	細目	a 対外関係が適切であった	b 対外関係がほぼ適切であった	c 他の事項に該当しない	d 対外関係がやや不備であった	e 対外関係が不備であった
	IV. 対外関係	<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 工事施工にあたり関係官公庁等の関係機関と適切に調整し、トラブルの発生がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、地元との調整を行いトラブルの発生がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 積極的な地元対策を実施し、第三者からの苦情がなかった。</p> <p><input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいることが記録等で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで、指摘事項がなかった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">理由 :</div> <p>上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が80%以上……………a</p> <p>上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が60%以上、80%未満……………b</p> <p>上記の施工プロセスでレ点が付され、かつ該当項目が50%以上、60%未満……………c</p> <p>上記の施工プロセスでレ点が付されない、もしくは該当項目が50%未満……………d</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数</p> <p>④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> </div>			<p><input type="checkbox"/> 関連工事との調整に関して、発注者の指示に従わなかったため、関連工事を含む工事全体の進捗に支障が生じた</p> <p>上記該当あれば……………e</p> <p><input type="checkbox"/> 請負者の対応による苦情が多い。または対応が悪くトラブルがあった。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係法令に違反する恐れがあったため、監督職員から文書により指示を行った。</p> <p>上記該当あれば……………d</p>	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

主任現場監督員

考査項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 <input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ①出来形の評定は、工事全般を通したものとす。 ②出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 ③出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上施工管理を行うものである。 ④出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 </div>					
機械設備工事・ 電気設備工事	a 出来形管理が適切である	b 出来形管理がほぼ適切である	c 他の事項に該当しない	d 出来形管理がやや不備である	e 出来形管理が不備である
※上記欄によらず、当該欄で評価	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 出来形管理図または出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真もしくは出来形図で的確に判断できる。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定して、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の形状、寸法の設計値に対する実測値が許容範囲内であり、満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の据え付け、固定方法が設計図書通りである。 <input type="checkbox"/> 配管、配線が整然となされており、設計図通りである。 <input type="checkbox"/> 法線が通っている、または各部の仕上げが良いなど構造物の外観が美しく出来ている。 <input type="checkbox"/> その他			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 理由： </div> <p> 該当項目が90%以上・・・a 該当項目が80%以上、90%未満・・・b 該当項目が60%以上、80%未満・・・c 該当項目が60%未満・・・d </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

主任現場監督員

考査項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 <input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。 <input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
①品質の評定は、工事全般を通したものとす。 ②品質とは、設計図書に示された工事事物の規格である。 ③品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上に行うものである。 ④品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする					
	a	b	c	d	e
	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
機械設備工事・電気設備工事 ※上記欄によらず、当該欄で評価	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が充分実施され、内容が確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミルシート等(現場照合を含む)で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の機能、性能管理が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係が、所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 現場条件により機器(製品)の機能・性能が確認出来ない場合、それに代わる工場試験等が行われている。 <input type="checkbox"/> 修繕の場合、既存の機器・性能を回復したもになっている。 <input type="checkbox"/> 設備全体の取り扱い説明書が整備されている。			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
	該当項目が90%以上・・・a 該当項目が80%以上、90%未満・・・b 該当項目が60%以上、80%未満・・・c 該当項目が60%未満・・・d		①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値() % = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

主任現場監督員

考査項目	a 品質管理が適切である	b 品質管理がほぼ適切である	c 他の事項に該当しない	d 品質管理がやや不備である	e 品質管理が不備である
<p>港湾浚渫工事</p> <p>※上記欄によらず、当該欄で評価</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>【共通】</p> <p><input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一般船舶に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 作業船(機械)が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。</p> <p>【浚渫・床掘関係】</p> <p><input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工している。</p> <p><input type="checkbox"/> 浚渫工又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 土砂処分における土質改良が適切に行われ施工している。</p> <p><input type="checkbox"/> 土砂の含水比等に配慮し、土砂の処分、仮置を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 浚渫又は床掘土砂に、かつ大物等が混入していた場合、適正に分別処理され施工している。</p> <p><input type="checkbox"/> 土砂仮置場における飛砂防止や排水を考慮した対策を講じて施工している。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要以上に余堀を行わないなど、精度良く浚渫することで、土砂処分量の縮減に努めた。</p> <p>該当項目が90%以上・・・a 該当項目が80%以上、90%未満・・・b 該当項目が60%以上、80%未満・・・c 該当項目が60%未満・・・d</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値() (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>			<p><input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記該当あれば・・・d</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。</p> <p>上記該当あれば・・・e</p>

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

総括監督員

考査項目	細目	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	工程管理が優れている	工程管理がやや優れている	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
	<p> <input type="checkbox"/> 災害復旧工事及び施工条件の変更等による工期的な制約がある中で余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事等との工程調整に取り組み、工程の遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 地元調整に取り組み工程の遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 休日(代休含む)の確保するなど、適切な人員整理と工程管理が行われている。 <input type="checkbox"/> 配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 <input type="checkbox"/> その他 理由 : </p> <p style="text-align: center;">※上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。</p>					
	III. 安全対策	安全対策が非常に優れている	安全対策がやや優れている	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である
	<p> <input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制を確立し組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理活動が活発で他の模範となっている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。 <input type="checkbox"/> 安全職場実現への取り組みが地域全体から評価されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由 : </p> <p style="text-align: center;">※上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。</p>					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考査項目	細目	対応キーワード	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性	施工条件等への対応	I. 構造物の特殊性への対応 <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 <input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状の複雑さに伴う煩雑な施工条件変化への対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 3. その他 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">理由 :</div> <p style="margin-left: 20px;">※上記で1項目以上し点がつれば2点とする。</p>	「構造物の特殊性への対応」に該当する事例 <ul style="list-style-type: none"> ● 大規模の事例 [1] <ul style="list-style-type: none"> ・切土・盛土工 15万m³<V ・護岸・築堤高 10m<H ・トンネル(シールド) 10m<φ ・ダム用水門<設計水深25m ・樋門・樋管 15m²<A ・揚排水機場 2000mm<φ ・堰、水門 最大径間長25m以上又は径間数3径間以上又は50m²/門 ・トンネル(開削工法) 20m<H ・トンネル(NATM) 内空断面積 85m²<A ・トンネル(沈埋工法) 300m²<A ・海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤 水深10m<H ・地滑り防止工 100m<W 又は150m<L ・浚渫工 100万m³<V ・流路工 500m³<Q ・砂防ダム 30m<H ・ダム高 150m<H ・転流トンネル 400m³/s<Q ・橋梁下部工 高さ 30m<H ・橋梁上部工 最大支間長 100m<L ● 浚渫土砂の長距離輸送捨て、大型ケーソン等の長距離回航、大型作業船を駆使する工事 [2] ● 沈埋トンネルの製作・築造で高度な技術を要する工事、特殊ケーソンの製作工事 [2] ● 砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。 [2] ● 鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。 [2] ● 供用中の道路トンネルの活線拡幅工事等。 [2] ● 構造物固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき工事特性があると評価された工事。 [2] ● その他、構造物固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき工事特性があると評価された工事。 [3]
		II. 特殊な技術の適用 <input type="checkbox"/> 4. 新工法および新材料の適用工事 <input type="checkbox"/> 5. 特殊な技術を要する工事 <input type="checkbox"/> 6. その他 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">理由 :</div> <p style="margin-left: 20px;">※上記で1項目以上し点がつれば2点とする。</p>	「特殊な技術の適用」の事例 <ul style="list-style-type: none"> ● 施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。 [4] ● パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事。 [4] ● NETIS登録技術のうち試行技術を活用した場合。 [4] ● 活用した試行技術が「小規模優良技術」、もしくは当該工事において発注者による活用効果調査結果の総合評価点が120点以上の場合。 [4] ● NETIS登録技術(試行技術を除く)のうち「有用とされる技術」を活用した場合。 [4] ● NETIS登録技術(試行技術を除く)のうち「有用とされる技術」以外を活用した結果、当該工事において発注者による活用効果調査結果の総合評価点が120点以上の場合。 [4] ● NETIS登録技術以外の新工法(機器類を含む)及び新材料の適用。 [4] ● 地山強度が低い。また土被りが薄い。FEM解析等の施工のための検討が必要な工事。 [5] ● その他、コンピューターシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事等。 [5] ● VE提案された工法等が特殊な技術の適用として評価できる場合。 [5] ● 技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき工事特性があると評価された工事。 [5] ● その他、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 [6]
		III. 厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> 7. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 8. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 <input type="checkbox"/> 9. 狭隘は泊地・航路内など航行船舶に配慮しなければならない工事 <input type="checkbox"/> 10. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 <input type="checkbox"/> 11. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 <input type="checkbox"/> 12. その他 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">理由 :</div> <p style="margin-left: 20px;">※上記で1項目以上し点がつれば2点とする。</p>	「厳しい自然・地盤条件への対応」の事例 <ul style="list-style-type: none"> ● 河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。 [7] ● 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。 [7] ● 軟弱地盤上の繰運盛土のため、施工不可能日(待ち時間)が多く、施工機械の稼働率と施工台数を的確に把握した工事。 [7] ● 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事(法面土は除く)。 [8] ● 斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。 [8] ● 土石流、危険渓流の指定地区内である工事 [8] ● 潮流が早い又は潮位差が大きい海域のため、施工工程及び作業時間の制約や刻々と変化する状況を克服する技術を要する工事 [9] ● 海上、海岸及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 [10] ● 波浪や水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事。また、作業構台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事。 [10] ● 冬期施工のため、大規模な雪害冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 [10] ● 国立公園内での工事。またはイヌワシ等の猛禽類や貴重な動植物への配慮のため、工程や施工法の制約を受けた工事 [11] ● その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき工事特性があると評価された工事。 [12]
		IV. 都市部等の作業環境、社会条件等への対応 6項目 <input type="checkbox"/> 13. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 14. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 <input type="checkbox"/> 15. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 16. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 <input type="checkbox"/> 17. 工事区域周辺の航行船舶への配慮(港湾独自) <input type="checkbox"/> 18. その他 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">理由 :</div> <p style="margin-left: 20px;">※上記で1項目以上し点がつれば6点とする</p>	「都市部等の作業環境、社会条件等への対応」の事例 <ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事。 [13] ● 市街地等の高密度集積地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 [13] ● 工事に先立ち又は施工中で、監視観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事。 [13] ● 横断函渠工事や電線地中化工事等の現道開削工事で、ガス管水道管電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事。 [14] ● 支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事。 [14] ● 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事。 [14] ● 工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事。 [14] ● 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。 [14] ● 市街地での夜間工事。 [15] ● DiD地区での工事。 [15] ● 供用中の道路(概ね日交通量1万台以上)で片側交互通行の交通規制をした工事。 [16] ● 供用中の道路での舗装及び修繕工事等。 [16] ● 供用している自専道等の路上工事で交通規制が必要な工事。 [16] ● 工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置撤去を日々行い、交通開放を行った工事。 [16] ● 一般船舶の航行が多く、工事実施にあたり、関係機関等との調整及び施工上の制約が多い工事 [17] ● 大気圧を越える気圧下の作業室での工事 [17] ● 酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上・水面から10m以上(10m以下)での工事 [17] ● 工程上他工事の制約を受け、船舶・機械、人員の増強を行った工事 [17] ● 施工区域、ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。 [18] ● その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき工事特性があると評価された工事。 [18]

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

総括監督員

	V長期工事における安全確保への対応 <input type="checkbox"/> 19. 工期が13ヶ月以上にわたる工事で法令違反がなく完成した工事 ※ただし、法令違反には、指名停止に至らない工事事故は除く。 <input type="checkbox"/> 20. その他 () ※上記で1項目以上レ点がつけば6点とする。	
	VIその他 <input type="checkbox"/> 21. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項。 理由 : _____ ※上記でレ点がつけば2点とする。	「その他で評価する必要がある事項」の事例 ● 災害等での臨機の措置。[21] ● その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術。[21]
記述評価 (レマークを付したキーワードについて、評価内容を詳細記述)	評点 : _____ 点 ※ ・工事特性は、加点評価とする。 ・I、II、IV、VIについては、1項目以上レ点がつけば2点とする。 ・III、Vについては、1項目以上レ点がつけば6点とする。 ・最大で20点とする。	【工事特性のキーワード評価】

- ※1. 主任技術評価官が評価する「5. 創意工夫」との二重評価はしない。
 ※2. 対応事例中の括弧内数字は、関連が高いと思われる対応力キーワードの番号を示す。ただし、レ点の付与にあたってはこれに縛られるものではない。
 ※3. 詳細評価の記述にあたっては、副所長及び担当課長との合議とし、各考査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な施工条件等への対応力を記述する。
 ※3. 評価対象は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

考査項目	細目	a	a'	b	b'	c
6. 社会性	I. 地域への貢献等	地域への貢献が非常に優れている	地域への貢献がかなり優れている	地域への貢献が優れている	地域への貢献がやや優れている	他の事項に該当しない
		<input type="checkbox"/> 周辺環境の環境保全・配慮に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 広報紙の発行や計画的に現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域生活に密着したゴミ拾い、道路・海岸・海域清掃等を積極的に実施し地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 災害時等に地域への援助・救援活動に積極的に協力した。 <input type="checkbox"/> 地域で主催されるイベントに積極的に参加し、地域とのコミュニケーションをとることに取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 現場事務所又は、作業現場等のイメージアップに積極的であった。 <input type="checkbox"/> その他 _____ 理由 : _____ ※上記該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c評価を行う。				

※地域への貢献等とは、工事の施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、加点評価する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考 査 項 目	法 令 遵 守 等 の 該 当 項 目 一 覧 表																						
8. 法令遵守等	<p>■総合評価における減点(評価内容の担保)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">措 置 内 容</th> <th style="width: 20%;">点 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1.入札時(契約後)の技術提案を満足できなかった。または履行しなかった場合 (総合評価に係わる減点(-3点~-15点))</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・契約図書に評価内容の担保で減点として付された内容が履行できなかった場合 ・入札時に提出された工事全般の施工計画の評価内容が実施されないと判断された場合 ・入札時VE(契約後VE)の技術提案の内容どおり実施できなかった場合又は技術提案の提案値を満たさなかった場合 ・減点とした場合、その内容を理由に記載。</p> <p>■法令遵守等における減点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">措 置 内 容</th> <th style="width: 20%;">点 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1. 指名停止3ヶ月以上</td> <td style="text-align: center;">-20点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-15点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-13点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-10点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5. 文書嚴重注意</td> <td style="text-align: center;">- 8点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 6. 口頭嚴重注意</td> <td style="text-align: center;">- 5点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 7. 口頭注意喚起 (工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故にかかる安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭嚴重注意以上の処分がなかった場合)</td> <td style="text-align: center;">- 3点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 8. 不問 (工事関係者事故または公衆災害が発生したが、安全管理の措置に不適切がない場合で、指導付き不問を含む)</td> <td style="text-align: center;">該当なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 本評価項目(8.法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。 ② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。 ③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。 ④ 措置内容が複数ある場合は、より厳しい措置1項目による評価(減点)とし、複数項目による重複評価(減点)は行わない。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1.入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。 ・ 2.承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 ・ 3.宿舎環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。 ・ 4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 ・ 5.当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。 ・ 6.建設業法に違反する事実が判明したEX)一括下請け、技術者の専任違反等 ・ 7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 ・ 8.使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 ・ 9.監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 ・ 10.下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。 ・ 11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 ・ 12.受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等暴力団関係者がいることが判明した。 ・ 13.下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記載されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員用自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 ・ 14.安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 ・ 15.施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった。 ・ 16.その他 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">理由 :</div>	措 置 内 容	点 数	<input type="checkbox"/> 1.入札時(契約後)の技術提案を満足できなかった。または履行しなかった場合 (総合評価に係わる減点(-3点~-15点))		措 置 内 容	点 数	<input type="checkbox"/> 1. 指名停止3ヶ月以上	-20点	<input type="checkbox"/> 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	<input type="checkbox"/> 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	<input type="checkbox"/> 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点	<input type="checkbox"/> 5. 文書嚴重注意	- 8点	<input type="checkbox"/> 6. 口頭嚴重注意	- 5点	<input type="checkbox"/> 7. 口頭注意喚起 (工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故にかかる安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭嚴重注意以上の処分がなかった場合)	- 3点	<input type="checkbox"/> 8. 不問 (工事関係者事故または公衆災害が発生したが、安全管理の措置に不適切がない場合で、指導付き不問を含む)	該当なし
措 置 内 容	点 数																						
<input type="checkbox"/> 1.入札時(契約後)の技術提案を満足できなかった。または履行しなかった場合 (総合評価に係わる減点(-3点~-15点))																							
措 置 内 容	点 数																						
<input type="checkbox"/> 1. 指名停止3ヶ月以上	-20点																						
<input type="checkbox"/> 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点																						
<input type="checkbox"/> 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点																						
<input type="checkbox"/> 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点																						
<input type="checkbox"/> 5. 文書嚴重注意	- 8点																						
<input type="checkbox"/> 6. 口頭嚴重注意	- 5点																						
<input type="checkbox"/> 7. 口頭注意喚起 (工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故にかかる安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭嚴重注意以上の処分がなかった場合)	- 3点																						
<input type="checkbox"/> 8. 不問 (工事関係者事故または公衆災害が発生したが、安全管理の措置に不適切がない場合で、指導付き不問を含む)	該当なし																						

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

検査職員

考 査 項 目	細 目	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である	
		<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 契約書18条第一項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行い施工がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対応して施工計画が変更され、工事期間を通じて現場施工方法と施工計画書が一致していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 必要な立会確認の手続きが事前になされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが確実になされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 計画内容に変更が生じた場合はその都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が法令等に沿った内容で的確に整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて施工計画書と現場の施工体制が一致していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、品質証明員により関係書類・出来形・品質等工事全般にわたって確認が行われ、有効に機能していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したもとなっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事の関係書類及び資料が不足なく簡潔に整理されている。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準等が作成され管理している。 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響がないよう工事材料が保管・管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 下請けに対する元請けとしての引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質管理確保のための対策など施工に関する工夫がなされ、その効果が書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 海洋汚染防止など法令遵守はもとより、環境に配慮した取組みが伺える。 <input type="checkbox"/> その他 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>理由 :</p> </div> <p style="margin-top: 10px;">該当項目が90%以上・・・a 該当項目が80%以上、90%未満・・・b 該当項目が60%以上、80%未満・・・c 該当項目が60%未満・・・d</p>			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により修補指示を行った。 <input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、検査職員から文書により指示を行った。 <p style="margin-top: 10px;">上記1項目でも該当あれば・・・d 2項目以上該当あれば・・・e</p>		
		<p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。		
	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 出来形管理図及び出来形管理表が出来形管理の状況を把握しやすくなるよう工夫されている。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定し、適切に管理し、精度の高い出来高となっている。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足し、わかりやすくまとめている。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において不可視部分の出来形が写真管理基準に基づいて撮影された写真により確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種については、監督職員と協議の上、管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他						<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
	理由：							
	①出来高の評定は、工事全般を通したものとす。 ②出来形とは、設計図書に示された工事的物の形状寸法である。 ③出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。							
機械設備工事・ 電気設備工事	a	a'	b	b'	c	d	e	
	出来形管理が優れている	出来形管理に優れた点が多くみられる	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の項目に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である	
※上記欄によらず、当該欄で評価	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 出来形管理図及び出来形管理表が出来形管理の状況を把握しやすくなるよう工夫されている。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において不可視部分の出来形が写真管理基準に基づいて撮影された写真により確認できる。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定して、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の形状、寸法の設計値に対する実測値が、許容範囲内であり、満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の性能、機能において、実測値が設計値以上となっており、満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の据え付け、固定方法が設計書通りである。(追加) <input type="checkbox"/> 配管、配線が整然となされており、設計図通りである。(追加) <input type="checkbox"/> その他						<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
	理由：							
	該当項目が90%以上・・・a 該当項目が80%以上、90%未満・・・a' 該当項目が70%以上、80%未満・・・b 該当項目が60%以上、70%未満・・・b' 該当項目が50%以上、60%未満・・・c 該当項目が50%未満・・・d							
	①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。							

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート 構造物工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a~b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び現場練りコンクリートの場合は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度、W/C、最大骨材粒径、塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレータの機種が仕様書に定められた条件を満足している。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリート強度を管理し必要な強度に達した後型枠、支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格及び引張り試験、曲げ試験の結果が品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物質が鉄筋に付着しないよう保管管理がされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が設計図書を満足したものであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スパースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、仕様書に定められた通り行われていることが確認できる。(追加) <input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがない。(追加) (「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じて、dまたはe評価とする。)				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d		<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
		ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上・・・a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満・・・a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満・・・c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。				①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。		
土工事 (切土、盛土、築堤等工事)		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a~b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めを設計図書の定めに従って施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 筋芝または種子吹付等を設計図書に適合するように行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締め固めの処理が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験等の品質管理に必要な試験を行っている。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。 <input type="checkbox"/> 一層のまき出し厚が管理されていることが確認できる。(追加) <input type="checkbox"/> 設計図書に規定された勾配が確保されている。(追加) <input type="checkbox"/> 伐間除根が設計図書の定め通り実施されていることが確認できる。(追加)				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d		<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
		ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上・・・a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満・・・a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満・・・c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。				①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材、胴込めコンクリートの充てんまたは締固めが、空隙が生じていないよう充分なされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等で、材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込材の吸い出しの恐れがないよう行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切である。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合、施工後の養生が設計図書を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結またはかみ合わせが設計図書を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎の掘削において掘り過ぎがなく施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等が損傷なく施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 床堀箇所の湧水及び滞水などは、排除して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について設計図書を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがない。 (「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じて、dまたはe評価とする。)				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d		<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e	
		ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上・・・a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満・・・a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満・・・c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。				①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	
		「評価対象項目」 【工場製作関係】 <input type="checkbox"/> 鋼材の種別照合が品質を証明する書類等(現物照合を含む)で確認されている。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> 素地調整の場合、1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接施工について、施工計画書が提出されている。 <input type="checkbox"/> 孔あけによって生じたまくれは削りとられるなど、きめこまかな製作がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 欠陥部を発生させずに製作されていることが確認できる。 【架設関係】 <input type="checkbox"/> ホルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> ホルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けが、中心から外側に向かっておこなわれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設にあたって、架設時の部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架設用機材について設計図書を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場塗装部のケレン、膜厚管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認が行われている。				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d		<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e	
		ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上・・・a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満・・・a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満・・・c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。				①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	砂防構造物工事及び地すべり防止工事 (集水井戸工事を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 <input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。 <input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
		「評価対象項目」						

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	舗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 <input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。 <input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
		「評価対象項目」 【路床・路盤工関係】 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、CBR値を測定し、適正な舗装設計の基礎資料収集を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床・路盤工のフルフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立ち、路床面、下層路盤の浮き石、有害物を除去してから施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所の締固めがタンパ等の小型締固め機械により施工されていることが確認できる。 【アスファルト舗装工関係】 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。 (アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く) <input type="checkbox"/> 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> 舗設後、直ちに供用する必要がある現場で、交通開放を設計図書に定められた条件に従って行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の各層の継ぎ目が仕様書に定められた数値以上ずらしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 目地の処理が仕様書に定められた通りであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締め固め等)の配慮が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 上層路盤面の浮き石等の有害物質を除去・清掃してから舗装工の施工がなされていることが確認できる。 【コンクリート舗装工関係】 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び現場練りコンクリートの場合は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度、W/C、最大骨材粒径、塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法が仕様書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> チェア、タイバーに損傷や有害物質が付着しないよう保管管理され、施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 上層路盤面の浮き石等の有害物質を除去・清掃してから舗装工の施工がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの敷き均しは、材料が分離しないように施工されていることが確認できる。 ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上・・・a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満・・・a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満・・・c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。						

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	海岸工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		「評価対象項目」						<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	法面工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		「評価対象項目」 【共通】 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工面の浮き石やゴミ等の品質に害となるものが除去されてから施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土法面の施工にあたり、法面崩壊が起こらないように締めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 排水が良好な状態で施工されていることが確認できる。(追加) 【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 土壌試験を実施し、施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネット等の重ね幅が10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さによって、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネット等が破損を生じずに設置されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合について、設計図書を満足するように実施されている。 <input type="checkbox"/> 施工時期について、設計図書を満足するように実施されている。 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 金網等の重ね幅が10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が他に悪影響が無いよう処理されている。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合について、設計図書を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹き付け面において、事前に吸水させてから施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 地山に沿って巻き込んで法肩の施工がされていることが確認できる。 【現場打法枠工関係】 <input type="checkbox"/> アンカーの施工長さが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が設計図書を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が他に悪影響が無いよう処理されている。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合について、設計図書を満足するように実施されていることが確認できる。						<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上……………a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満……a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満……………c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。						①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値() (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	基礎工事 (地盤改良等含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭の止りめ管理方法または場所打ち杭の施工管理方法等が整備されていることが確認でき、かつ記録が簡潔に整備されている。 <input type="checkbox"/> 水平度、安全度、鉛直度等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭についてトレミー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重等が設計図書を満足するように管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組立にあたって、偏心と歪みが少なくなるよう配慮されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭頭処理において杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭の施工において支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等によりチェックされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が適切に整理され設計図書通りの配合で施工されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> スラリー噴出量、強度確認、セメントミルクの比重管理等の品質に係わる事項の管理資料が不足なく整理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋・スパーサー・コンクリート打設等が設計図書を満足するよう実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> SCP杭の配置が均等で所定の強度確認ができる。 <input type="checkbox"/> 薬液注入が確実に実施されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛上がり土が合った場合は、適切に改良されている				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d		<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e	
		ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上・・・a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満・・・a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満・・・c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。							
		①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。							

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e	
コンクリート橋 工事 (PC及びRCを 対象)		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び現場練りコンクリートの場合は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度、W/C、最大骨材粒径、塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレタの機種、養生方法が仕様書に定められた条件を満足している。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリート強度を管理し必要な強度に達した後に型枠、支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格が品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度または曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物質が鉄筋に付着しないよう保管管理がされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> スペースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が設計図書を満足するよう行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 装置(機器)のキャリブレーションが実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緊張及びグラウト管理が設計図書を満足するよう実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレッグ時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがない。(追加) (「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じて、dまたはe評価とする。) <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、仕様書に定められた通り行われていることが確認できる。				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e		
		ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上・・・・・・a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満・・・a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満・・・・・・c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。							
		①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。							

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e			
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	塗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。			
	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> ケレンが入念に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗膜に有害な付着物がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に確認できる。 <input type="checkbox"/> 中塗り、上塗りを実施する際に被塗面の乾燥確認、清掃が行われていることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> 塗り残し、気泡むら、ながれ、はけめ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分を必要塗膜厚を確保するように施工されていることが確認できる。	ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上………a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満……a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満………c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。		①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。		<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば……d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば……e				
	トンネル工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。			
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び現場練りコンクリートの場合は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ等行っている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格が品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄網にさび、どろ、油等の有害物質が鉄筋に付着しないよう保守管理がされていることを確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物質が鉄筋に付着しないよう保管管理がされていることを確認できる。 <input type="checkbox"/> 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm(一目)以上重ね合わせていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 浮石等を除いた後に、吹付コンクリートが一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの打継ぎ部の施工で清掃及び湿潤状態が確認できる。 <input type="checkbox"/> ロックボルト挿入前にくろ粉除去の清掃がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 逆巻の場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎ目が同一線上にないことが確認できる。				ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上………a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満……a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満………c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。		①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。		<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば……d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば……e

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	植栽工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a~b'に該当しない。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し施工に反映していることが確認できる(変更) <input type="checkbox"/> 活着管理が適切に行われていることが確認できる(変更) <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷、はちぐずれ等がなく保護養生が適切に行われていることが確認できる(変更) <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のあるものは除去されていることが確認できる(変更) <input type="checkbox"/> 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われていることが確認できる(変更) <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥されていることが確認できる(変更) <input type="checkbox"/> 植えた樹木に対して余裕のある植穴が掘削されたことが確認できる。(追加) <input type="checkbox"/> 設置された添え木にぐらつきが無いことを確認できる。(追加) <input type="checkbox"/> 樹名板の設置について、添木、樹木等に視認しやすい場所に据え付けたことが確認できる。(追加)				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a~b'に該当しない。		<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	
		ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上・・・a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満・・・a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満・・・c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。				①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a~b'に該当しない。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ベイント式(常温式)区画線に使用するシナーの使用量が10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵床堀りの仕上がり面において、地山を乱さないように、不陸が生じないように施工していることを確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵基礎工の施工については、無筋、鉄筋コンクリートの規定に整合して施工していることを確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の施工により既設舗装に悪影響を及ぼしていないことを確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルについて、設計図書に定めた張力が確保されていることを確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本で確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の視認性が昼間、夜間ともに確認されている。 <input type="checkbox"/> 設置路面の水分、泥、砂じん、ほこりを取り除いて区画線の施工がなされていることを確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の消去が、表示材(塗料)のみの除去となり路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プライマーを路面に均等に塗布して施工していることが確認できる。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a~b'に該当しない。		<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	
		ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上・・・a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満・・・a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満・・・c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。				①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	建築工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 部品の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 機器等(設備等)の機能が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 室内の塵芥処理等が適切に行われ、納まりの事前検討も十分実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 建築主事の工事完了検査済証が確認できる。	<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e					
		ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上・・・a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満・・・a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満・・・c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。				①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。		
	機械設備工事・電気設備工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
※上記欄によらず、当該欄で評価		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が充分実施され、内容が確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の機能、性能管理が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係が、所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 修繕の場合、既存の機器・性能を回復したものにしている。 <input type="checkbox"/> 設備全体の取り扱い説明書が整備されている。				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e	
		ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上・・・a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満・・・a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満・・・c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。				①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	維持修繕工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： ばらつきが少なく該当項目が4項目・・・a ばらつきが少なく該当項目が3項目・・・a' ばらつきが少なく該当項目が2項目・・・b ばらつきが少なく該当項目が1項目・・・b' ばらつきが少なく該当項目がない・・・c						<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
	電気通信工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 単体品(材料・部品組立後)の品質及び形状が均一で、設計図書等との適正が確認でき、証明書等が整備されている。ただし、JIS及び電気用品取締法施行令によるものは、単体品の証明書を省略できるものとする。 <input type="checkbox"/> 設備の機能が設計図書等との適正が確認でき、その機能の証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能(工場及び現地試験結果)がよく、所定の能力を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、設備の機能(性能)が容易に判別できる資料等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料が整備されている。 ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上・・・a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満・・・a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満・・・b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満・・・c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。						<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値() (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値() (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事 (浚渫、海岸築造工事を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
II. 品質		「評価対象項目」 【共通】 <input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一般船に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。 【浚渫・床掘関係】 <input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 浚渫工又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されている。 <input type="checkbox"/> 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっている。 <input type="checkbox"/> 土捨て場に制約がなく、深掘しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっている。 <input type="checkbox"/> 土質に対して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に抑えている。(大型船による施工で、作業日数短縮等も含む) <input type="checkbox"/> 浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋め戻しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。 【地盤改良関係】 <input type="checkbox"/> 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないように置換材を投入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> サンドトレーン・砕石トレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> ベーパートレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したベーパートレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 前記以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍壊の恐れのないものが使用されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 【マット、捨石及び均し関係】 <input type="checkbox"/> 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損がなく施工され、記録により確認できる。 【本体：杭及び矢板、控工関係】 <input type="checkbox"/> 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆面に損傷を与えないよう、適切に処置されていることが確認できる。				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

- 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されていることが確認できる。
- 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。
- 腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。
- タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。
- タイワイヤーは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。
- 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。

【本体：ケーソン掘付、ブロック掘付関係】

- ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。
- ケーソン掘付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、掘付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。
- ケーソン掘付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。
- コンクリートブロック掘付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、掘付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。
- ブロック掘付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。
- ケーソンえい航に先立ち、気象・海象等を十分調査し、適切な時期を選定されていることが確認できる。
- ケーソンえい航に先立ち、上蓋、安全ネット又は吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じていることが確認できる。
- ケーソン注水時の隔壁の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。
- ケーソン仮置き、掘付の時期について、仕様書を満足するよう実施されていることが確認できる。
- 中詰において海上漏出がないように施工されていることが確認できる。

【コンクリート関係】

- 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び現場練りコンクリートの場合は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度、W/C、最大骨材粒径、塩基総量等)が確認できる。
- コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等を試験した結果が確認できる。
- コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
- 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種が仕様書に定められた条件を満足している。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
- コンクリート強度を管理し必要な強度に達した後型枠、支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
- 鉄筋の規格が品質を証明する書類で確認できる。
- 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。
- コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物質が鉄筋に付着しないよう保管管理がされていることが確認できる。
- 鉄筋の組立・加工が設計図書を満足したものであることが確認できる。
- 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
- スパースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。
- コンクリートの養生が、仕様書に定められた通り行われていることが確認できる。
- 進行性又は有害なクラックがない。
(「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じて、dまたはe評価とする。)

ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上……………a
 ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満……a'
 ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b
 ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b'
 ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満……………c
 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	空港用地造成工事 (排水工事、地盤改良工事を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
II. 品質		「評価対象項目」 【土工関係】 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めを適切な条件で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 筋芝または種子吹付等を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締め固め等の処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が適正であることが試験成績表で確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がないことが確認できる。 【コンクリート関係】 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び現場練りコンクリートの場合は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度、W/C、最大骨材粒径、塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採用し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイレータの機種、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリート強度を管理し必要な強度に達した後に型枠、支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格が品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物質が鉄筋に付着しないよう保管管理がされている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が設計図書を満足したものであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーが適切に配置され、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、仕様書に定められた通り行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがない。(「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じて、dまたはe評価とする。) 【排水工関係】 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリートカルバートは、機能を阻害する欠損やひび割れ等の損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> PCボックスカルバートは、機能を阻害する欠損やひび割れ等の損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管渠(コンクリート管等)は、機能を阻害する欠損やひび割れ等の損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 開渠、マンホール及び蓋は、機能を阻害する欠損やひび割れ等の損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基準高、方向等前後の水路となじみよく取り付けられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎の掘削において掘り過ぎがなく施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 床掘箇所湧水及び滞水などは、排除して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について設計図書を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがない。(「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じて、dまたはe評価とする。) 【地盤改良関係】 <input type="checkbox"/> 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> サンドトレーン・砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> ベーバードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したベーバードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 前記以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が適切に整理され設計図書通りの配合で施工されたことが確認できる。				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

- 杭の打止め管理方法または場所打ち杭の施工管理方法等が整備されていることが確認でき、かつ記録が簡潔に整備されている。
- スラリー噴出量、強度確認、セメントミルクの比重管理等の品質に係わる事項の管理資料が不足なく整理されている。
- 【杭及び矢板関係】
- 鋼材の規格・数量がミルシート等（現物照合を含む）で確認できる。
- 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう、適切に処置されていることが確認できる。
- 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されていることが確認できる。
- 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。
- 腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。
- タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。
- タイワイヤーは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。
- 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。

ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上……a
 ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満……a'
 ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b
 ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b'
 ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満……c
 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	空港舗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
II. 品質		「評価対象項目」 【路床・路盤工関係】 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、CBR値を測定し、適正な施工の基礎資料収集を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床・路盤工のプルフローリング(自主管理)を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立ち、路床面、下層路盤の浮き石、有害物を除去してから施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所の締固めがタンバ等の小型締固め機械により施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> セメント安定処理路盤の仕上げ完了後、直ちにプライムコートを散布し養生されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 上層路盤において一層の仕上がり厚を15cm以下とし、各層ごとに締固めて施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 他の構造物と隣接する箇所及び狭い箇所において、小型機械等により入念に締め固めていることが確認できる。 【アスファルト舗装工関係】 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び現場練りコンクリートの場合は試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。 (アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く) <input type="checkbox"/> 混合物の温度管理が、プラウト出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗設後、直ちに供用する必要がある現場で、交通開放を設計図書に定められた条件に従って行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の各層の継ぎ目が仕様書に定められた数値以上ずらしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 目地の処理が仕様書に定められた通りであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締め固め等)の配慮が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 上層路盤面の浮き石等の有害物質を除去・清掃してから舗装工の施工がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 滑走路、誘導路の摺り付けが、設計図書に定められた条件に従って施工されていることが確認できる。 【コンクリート舗装工関係(PC舗装含む)】 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び現場練りコンクリートの場合は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度、W/C、最大骨材粒径、塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> チェア、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートまたは公的機関の試験成績表で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度または曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの材質が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緊張及びグラウト管理が適切に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレッグ時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。 【排水工関係】 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリートカルバートは、機能を阻害する欠損やひび割れ等の損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> PCボックスカルバートは、機能を阻害する欠損やひび割れ等の損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管渠(コンクリート管等)は、機能を阻害する欠損やひび割れ等の損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 開渠、マンホール及び蓋は、機能を阻害する欠損やひび割れ等の損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基準高、方向等前後の水路となじみよく取り付けられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎の掘削において掘り過ぎがなく施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 床掘箇所の湧水及び滞水などは、排除して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について設計図書を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがない。(「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じて、dまたはe評価とする。)				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
							上記該当あれば・・・d	上記該当あれば・・・e

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

	<p>【防護柵(網)・標識・区画線関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ベイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵床堀りの仕上がり面において、地山を乱さないように、不陸が生じないように施工していることを確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の施工により既設舗装に悪影響を及ぼしていないことを確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本で確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の視認性が昼間、夜間ともに確認されている。 <input type="checkbox"/> 設置路面の水分、泥、砂じん、ほこりを取り除いて区画線の施工がなされていることを確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の消去が、表示材(塗料)のみの除去となり路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プライマーを路面に均等に塗布して施工していることが確認できる。 <p style="padding-left: 40px;">ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上……a</p> <p style="padding-left: 40px;">ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満……a'</p> <p style="padding-left: 40px;">ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b</p> <p style="padding-left: 40px;">ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b'</p> <p style="padding-left: 40px;">ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満……c</p> <p>※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。</p>	
--	--	--


工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

検査職員

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	上記以外の工事又は合併工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。				<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a～b'に該当しない。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が90%以上……a ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が80%以上、90%未満……a' ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が70%以上、80%未満……b' ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、該当項目が60%未満……c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ 該当工種からの審査事項で審査し最大審査項目は5項目とする。				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば……d		<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば……e	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>									

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e	
		仕上げがきめ細かく、全体に美観が良い					他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体に美観が悪い	
3. 出来形及び 出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 海岸工事 トンネル工事	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い					※ 該当 5 項目程度以上・・・ a 該当 4 項目程度・・・ b 該当 3 項目程度・・・ c 該当 2 項目程度以下・・・ d		
	土 工 事 (盛土・築堤工事等)	<input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。					※ 該当 4 項目程度以上・・・ a 該当 3 項目程度・・・ b 該当 2 項目程度・・・ c 該当 1 項目程度以下・・・ d		
	切土工事	<input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部には緩衝部等を設け、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 施工面には滞水による損傷が発生しないよう滞水防止等の処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 残土等は適切に処理されている。					※ 該当 6 項目程度以上・・・ a 該当 4 項目程度・・・ b 該当 3 項目程度・・・ c 該当 2 項目程度以下・・・ d		
	護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 通りがよい。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよい、またはクラックがない。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけがよい。					※ 該当 3 項目程度以上・・・ a 該当 2 項目程度・・・ b 該当 1 項目程度・・・ c 該当項目なし・・・ d		
	鋼橋工事	<input type="checkbox"/> 表面に補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。					※ 該当 4 項目程度以上・・・ a 該当 3 項目程度・・・ b 該当 2 項目程度・・・ c 該当 1 項目程度以下・・・ d		
	地すべり防止工事						※ 該当 3 項目程度以上・・・ a 該当 2 項目程度・・・ b 該当 1 項目程度・・・ c 該当項目なし・・・ d		
	舗装工事	<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。					※ 該当 5 項目程度以上・・・ a 該当 4 項目程度・・・ b 該当 3 項目程度・・・ c 該当 2 項目程度以下・・・ d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		仕上げがきめ細かく、全体に美観が良い				他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体に美観が悪い	
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	法面工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				※	該当3項目程度以上・・・a 該当2項目程度・・・b 該当1項目程度・・・c 該当項目なし・・・d	
	基礎工工事 (地盤改良等を含む)	<input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部、天端仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。				※	該当3項目程度以上・・・a 該当2項目程度・・・b 該当1項目程度・・・c 該当項目なし・・・d	
	コンクリート橋工事	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				※	該当6項目程度以上・・・a 該当4項目程度・・・b 該当3項目程度・・・c 該当2項目程度以下・・・d	
	塗装工事 (工場塗装を除く)	<input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				※	該当4項目程度以上・・・a 該当3項目程度・・・b 該当2項目程度・・・c 該当1項目程度以下・・・d	
	植栽工事	<input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 植栽帯の全体的な美観が良い。				※	該当3項目程度以上・・・a 該当2項目程度・・・b 該当1項目程度・・・c 該当項目なし・・・d	
	防護柵(網)工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				※	該当5項目程度以上・・・a 該当4項目程度・・・b 該当3項目程度・・・c 該当2項目程度以下・・・d	
	標識工事	<input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板、支柱に変色がない。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な取り扱いがしやすい。				※	該当4項目程度以上・・・a 該当3項目程度・・・b 該当2項目程度・・・c 該当1項目程度以下・・・d	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		仕上げがきめ細かく、全体に美観が良い					他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体に美観が悪い
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	区画線工事	<input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工面の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				※	該当4項目程度以上・・・a 該当3項目程度・・・b 該当2項目程度・・・c 該当1項目程度以下・・・d	
	建築工事	<input type="checkbox"/> 建築物の通り、形状が良い。 <input type="checkbox"/> 仕上げの均一性、平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 機能面での配慮が適切である。 <input type="checkbox"/> 防水の納まりが良好である。 <input type="checkbox"/> 建具の取り付け、作動が良い。 <input type="checkbox"/> 関連工事との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				※	該当6項目程度以上・・・a 該当4項目程度・・・b 該当3項目程度・・・c 該当2項目程度以下・・・d	
	機械設備工事	<input type="checkbox"/> 仕上がり状態が良く、全体的な美観に優れている。 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が優れている。 <input type="checkbox"/> 異常な振動、騒音がなく、動きもスムーズで、総合的な機能、運転性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 公共物としての安全、環境、維持、管理への配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等細部に渡る配慮が良い。				※	該当4項目程度以上・・・a 該当3項目程度・・・b 該当2項目程度・・・c 該当1項目程度以下・・・d	
	電気設備工事 照明設備工事 その他類似工事	<input type="checkbox"/> 構造物等にきめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物としての安全、環境、維持管理等への配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 製作上の補修痕跡がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な取扱いがしやすい。				※	該当4項目程度以上・・・a 該当3項目程度・・・b 該当2項目程度・・・c 該当1項目程度以下・・・d	
	維持修繕工事	<input type="checkbox"/> 小構造物等にも細心の注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				※	該当3項目程度以上・・・a 該当2項目程度・・・b 該当1項目程度・・・c 該当項目なし・・・d	
	通信設備工事 受変電設備工事 その他類似工事	<input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物としての安全、環境、維持管理等への配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物との通り、すりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 製作上の補修痕跡がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な取扱いがしやすい。				※	該当4項目程度以上・・・a 該当3項目程度・・・b 該当2項目程度・・・c 該当1項目程度以下・・・d	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

検査職員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		仕上げがきめ細かく、全体に美観が良い				他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体に美観が悪い	
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	港湾築造工事 (海岸築造工事を含む)	<input type="checkbox"/> 構造物等の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。(コンクリート工事が含まれる場合)				(コンクリート工事が無い場合) ※ 該当4項目程度以上・・・a 該当3項目程度・・・b 該当2項目程度・・・c 該当1項目程度以下・・・d	(コンクリート工事が含まれる場合) ※ 該当5項目程度以上・・・a 該当4項目程度・・・b 該当3項目程度・・・c 該当2項目程度以下・・・d	
	港湾浚渫工事 (地盤改良工事を含む)	<input type="checkbox"/> 規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 浚渫及び盛り上等の土砂が適切に処理されている。				※ 該当3項目程度以上・・・a 該当2項目程度・・・b 該当1項目程度・・・c 該当項目なし・・・d		
	ブロック製作工事 (ケーソン陸上製作工事を含む)	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				※ 該当4項目程度以上・・・a 該当3項目程度・・・b 該当2項目程度・・・c 該当1項目程度以下・・・d		
	空港用地造成工事 (排水工事、地盤改良工事を含む)	<input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 切土、盛土、構造物等の表面仕上げ及び端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 残土等は適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 切土、盛土、構造物等の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				※ 該当6項目程度以上・・・a 該当4項目程度・・・b 該当3項目程度・・・c 該当2項目程度以下・・・d		
	空港舗装工事	<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等の表面仕上げ及び端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等のきめ細やかな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				※ 該当6項目程度以上・・・a 該当4項目程度・・・b 該当3項目程度・・・c 該当2項目程度以下・・・d		

細目別評定点採点表

別記様式第2

項目	細別	①主任技術評価職員	②総括技術評価職員	③技術検査職員（完成・指定部分）	細目別評定点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	$() \times 0.4 + 2.9 =$ 点			/
	II. 配置技術者	$() \times 0.4 + 2.9 =$ 点			3.3点
2. 施工状況	I. 施工管理	$() \times 0.4 + 2.9 =$ 点		$() \times 0.4 + 6.5 =$ 点	/
	II. 工程管理	$() \times 0.4 + 2.9 =$ 点	$() \times 0.2 + 3.2 =$ 点		8.1点
	III. 安全対策	$() \times 0.4 + 2.9 =$ 点	$() \times 0.2 + 3.3 =$ 点		/
	IV. 対外関係	$() \times 0.4 + 2.9 =$ 点			8.8点
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	$() \times 0.4 + 2.8 =$ 点		$() \times 0.4 + 6.5 =$ 点	/
	II. 品質	$() \times 0.4 + 2.9 =$ 点		$() \times 0.4 + 6.5 =$ 点	14.9点
	III. 出来ばえ			$() \times 0.4 + 6.5 =$ 点	/
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応		$() \times 0.2 + 3.3 =$ 点		7.3点
5. 創意工夫	I. 創意工夫	$() \times 0.4 + 2.9 =$ 点			/
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		$() \times 0.2 + 3.2 =$ 点		5.7点
7. 法令遵守等			$() \times 1.0 =$ 点		/
評定点合計					100.0点

※共同企業体の構成員によって異なる指名停止等の措置をとった場合は、構成員毎に工事成績評定表を作成する。

指定部分・完成検査の評定点合算表

工 事 名						
請 負 者 名						
契 約 金 額					完成年月日	平成 年 月 日
工 期		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日				
検査の種類		第1回指定部分検査	第2回指定部分検査	完成検査(指定部分以外)		
検査金額						
検査年月日						
主任現場監督員氏名						
総括監督員氏名						
検査職員氏名						
項目	細別	第1回指定部分検査	第2回指定部分検査	完成検査(指定部分以外)	合算評定点	得点割合
検査金額構成率(%)						
細目別評定点	1. 施工体制	I. 施工体制一般	/3.3点	/3.3点	/3.3点	/3.3点
		II. 配置技術者	/4.1点	/4.1点	/4.1点	/4.1点
	2. 施工状況	I. 施工管理	/13.点	/13.点	/13.点	/13.点
		II. 工程管理	/8.1点	/8.1点	/8.1点	/8.1点
		III. 安全対策	/8.8点	/8.8点	/8.8点	/8.8点
		IV. 対外関係	/3.7点	/3.7点	/3.7点	/3.7点
	3. 出来形、品質及び出来ばえ	I. 出来形	/14.9点	/14.9点	/14.9点	/14.9点
		II. 品質	/17.4点	/17.4点	/17.4点	/17.4点
		III. 出来ばえ	/8.5点	/8.5点	/8.5点	/8.5点
	4. 工事特性	I. 施工条件等への対応	/7.3点	/7.3点	/7.3点	/7.3点
	5. 創意工夫	I. 創意工夫	/5.7点	/5.7点	/5.7点	/5.7点
	6. 社会性等	I. 地域への貢献等	/5.2点	/5.2点	/5.2点	/5.2点
	7. 評定点計	:計(1~6)	/100.点	/100.点	/100.点	/100.点
8. 法令遵守等						
9. 評定点合計	:計(7+8)	/100.点	/100.点	/100.点	/100.点	

注1 検査金額構成率は、契約金額に占める検査金額率とし、%表示で小数第2位でまるめる(四捨五入)。

注2 評定点計は、小数第1位でまるめる(四捨五入)。

注3 合算評定点は、各検査時の細目別評定点×検査金額構成率の計とする。なお、「法令遵守等」は、各検査時の最高減点とする。

注4 得点割合は、「合算評定点の7. 評定点計」に対する「合算評定点の細目別評定点」の割合とし百分率で示す。

注5 評定点合計=評定点計-法令遵守等。

注6 共同企業体の構成員によって異なる措置をとった場合は、構成員毎に指定部分・完成検査の評定点合算表を作成する。

工事成績評定表

平成 年 月 日
事務所

検査の種類	完成・第 回指定部分	
工事名		
契約金額		
検査金額		
工期	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
指定部分工期	第1回：平成 年 月 日 第2回：平成 年 月 日	
完成年月日	平成 年 月 日	
検査年月日	平成 年 月 日	
請負者名	※2	
現場代理人氏名		
主任・監理技術者氏名		
総括技術評価職員所属・氏名		印
主任技術評価職員所属・氏名		印
技術検査職員所属・氏名		印
① 主任技術評価職員評定点		点
② 総括技術評価職員評定点		点
③ 技術検査職員評定点		点
④ 法令遵守等	—	点
⑤ 評定点合計		点
※1 請負工事成績		点

注1) 主任技術評価職員、総括技術評価職監督員、技術検査職員の評定点は小数第1位までとする。

2) 評定点合計 ⑤ = (① × 0.4 + ② × 0.2 + ③ × 0.4) - ④ (四捨五入により整数止め)

3) ※1 請負工事成績は、指定部分検査がある場合、個々の検査時の評定点合計と検査金額により加重平均を行い記入する。(四捨五入により整数止め)

4) ※2 共同企業体の構成員によって異なる指名停止等の措置をとった場合は、構成員毎に工事成績評定表を作成する。

記入例)

○○・△△共同企業体 (○○会社○○支店)

○○・△△共同企業体 (△△会社のみ)

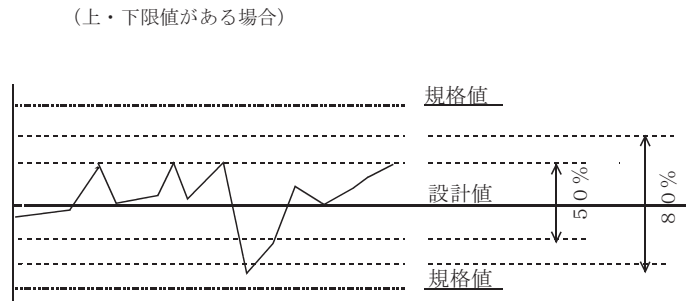
○○・△△共同企業体 (○○会社を除く)

別紙-4

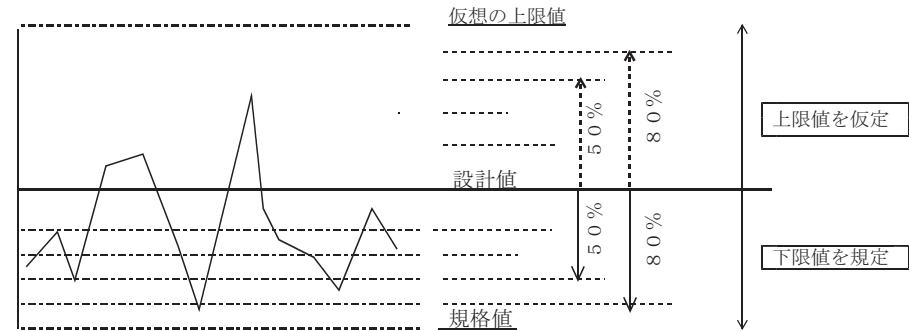
【記入方法及び留意事項】

1. 出来形及び品質のばらつきの考え方

〔管理図の場合〕

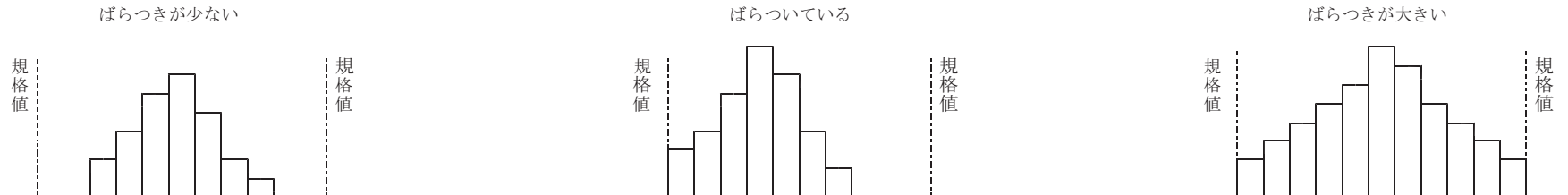


〔下限値のみの場合〕



※上限値のない場合のばらつきの考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定し、ばらつきの%を考慮する。

〔度数表または、ヒストグラムの場合〕



2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種で評定する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。
- (3) 評定は「合併工事」欄を活用する。

3. コンクリート構造物のクラックについて

- (1) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、C評価とする。
- (2) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがない」場合、無処理の場合は、d評価とする。
- (3) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがある」場合、無処理の場合は、e評価とする。

4. その他

- ・「施工プロセス」チェックリストを活用して、評定を行う。
- ・「4. 高度技術」「5. 創意工夫」「6. 社会性等」は、請負者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評定を行う。

「施工プロセス」のチェックリスト

調査項目別	細目	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	該当有無	チェック時期(指示事項)														備考 (指示事項及びその是正状況等)	
					着手前	施工中												完成時		
1	I	○施工体制台帳、 施工体系図 (続き)	・施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。 (施工時の当初、変更時)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			・施工体系図に記載のない業者が作業していない。 (施工時1回/月程度)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			・施工体系図に記載されている主任技術者及び施工計画書に記載されている技術者が本人である。 (施工時の当初、変更時)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			・元請負人がその下請工事の施工に実質的に関与している。 (施工時の当初、変更時)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		○建設業許可標識	・建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見やすい場所に設置し、監理技術者を正しく記載している。 (施工時1回程度)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
II	○現場代理人	・現場代理人は、現場に常駐している。 (施工時1回/月程度)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		・現場代理人は、監督職員との連絡調整を書面等で行っている。 (施工時適宜)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	○専門技術者の配置	・専門技術者を専任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	○潜水作業従事者の配置	・潜水作業従事者を適正に配置している。 (施工計画時、施工時適宜)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	○海上起重作業船団長の配置	・海上起重作業船団長を適正に配置している。 (施工計画時、施工時適宜)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	○作業主任者の配置	・作業主任者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	○監理技術者 (主任技術者) の専任制	・資格者証の内容を確認した。 (着手前)		<input type="checkbox"/>																
		・配置予定技術者、通知による監理技術者、施工体制台帳に記載された監理技術者及び監理技術者証に記載された技術者が、同一かつ本人である。 (着手前)		<input type="checkbox"/>																
		・現場に常駐している。 (施工時1回/月程度)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		・施工計画や工事に係る工程、技術的事項を把握し、主体的に係わっている。 (施工時、打合せ時)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
・施工にあたり、創意工夫又は提案をもって工事を進めている。 (施工時適宜)			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
○現場技術者	・現場監督員との対応は適切である。 (施工時適宜)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
○下請負者の把握	・下請負者が国土交通省の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間中ではない。 (施工時適宜)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

契約の相手方
所在地
商号又は名称
代表者氏名 殿

〇〇地方整備局 (局長、副局長、次長)
〇 〇 〇 〇 印
又は 〇〇地方整備局
〇〇事務所長
〇 〇 〇 〇 印

請負工事成績評定通知書

貴社が受注した工事について、請負工事成績評定要領に基づき評定した結果を通知します。

なお、評定の結果に疑問があるときは、当職に対してその疑問の旨を付して、この書面の通知を受けた日から起算して14日(「休日」を含む。)以内に書面により、説明を求めることができます。

疑問の旨に対する説明は、書面により郵送いたします。

なお、説明を求める場合の書面の送付先及び手続き等についての問い合わせ先は下記のとおりです。

記

- 1 工事名 〇 〇 〇 〇 工事
- 2 工期 平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日
- 3 完成検査年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日
- 4 評定結果
 - ① 評定点 〇 〇 点 項目別評定点は、別表1のとおり
 - (① 修正評定点 〇 〇 点 【評定点が修正された場合のみ】)
 - ② 工事技術的難易度評価 〇 項目別評価表は、別表2のとおり
- 5 送付先
 - (本官の場合) 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
国土交通省〇〇地方整備局 (担当官) 〇〇〇〇 宛
TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (代) 内線〇〇〇〇
 - (分任官の場合) 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所 (担当官) 〇〇〇〇 宛
TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (代) 内線〇〇〇〇
- 6 手続き等の問い合わせ先
 - (本官の場合) 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
国土交通省〇〇地方整備局 港湾空港部 (担当) 課 (担当) 係
TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (代) 内線〇〇〇〇
 - (分任官の場合) 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
国土交通省〇〇地方整備局 〇〇事務所 〇〇(担当)課 (担当) 係
TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (代) 内線〇〇〇〇

(別紙第1-2)

国〇整〇〇第 号
平成 年 月 日

契約の相手方

所在地

〇〇・△△共同企業体

代表者氏名 殿

〇〇地方整備局(局長、副局長、次長)

〇〇〇〇 印

又は 〇〇地方整備局

〇〇事務所長

〇〇〇〇 印

請負工事成績評定通知書

貴共同企業体が受注した工事について、請負工事成績評定要領に基づき評定した結果を通知します。
なお、評定の結果に疑問があるときは、当職に対してその疑問の旨を付して、この書面の通知を受けた日から起算して14日(「休日」を含む。)以内に書面により、説明を求めることができます。
疑問の旨に対する説明は、書面により郵送いたします。
なお、説明を求める場合の書面の送付先及び手続き等についての問い合わせ先は下記のとおりです。

記

- 1 工事名 〇〇〇〇工事
- 2 工期 平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日
- 3 完成検査年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日
- 4 評定結果
① 評定点 〇〇会社〇〇支店 〇〇点 } 項目別評定点は、別表1のとおり
△△会社△△支店 △△点 }
※〇〇点(〇〇会社〇〇支店を除く)取りまとめて記載しても可

(①修正評定点 記載方法は①評定点と同じ 【評定点が修正された場合のみ】)

②工事技術的難易度評価 〇 項目別評価表は、別表2のとおり

5 送付先

(本官の場合) ㊦〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
国土交通省〇〇地方整備局(担当官)〇〇〇〇 宛
TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇(代) 内線〇〇〇〇

(分任官の場合) ㊦〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所(担当官)〇〇〇〇 宛
TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇(代) 内線〇〇〇〇

6 手続き等の問い合わせ先

(本官の場合) ㊦〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
国土交通省〇〇地方整備局 港湾空港部(担当)課(担当)係
TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇(代) 内線〇〇〇〇

(分任官の場合) ㊦〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
国土交通省〇〇地方整備局 〇〇事務所 〇〇(担当)課(担当)係
TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇(代) 内線〇〇〇〇

別表1

項目別評定点

評価項目	細別	評定点/満点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	/ 3. 3点
	II. 配置技術者	/ 4. 1点
2. 施工状況	I. 施工管理	/ 13. 0点
	II. 行程管理	/ 8. 1点
	III. 安全探索	/ 8. 8点
	IV. 対外関係	/ 3. 7点
3. 出来形、品質及び出来ばえ	I. 出来形	/ 14. 9点
	II. 品質	/ 17. 4点
	III. 出来ばえ	/ 8. 5点
4. 工事特性 (加点のみ)	施工条件等への対応	/ 7. 3点
5. 創意工夫 (加点のみ)	創意工夫	/ 5. 7点
6. 社会性等 (加点のみ)	地域への貢献等	/ 5. 2点
7. 法令遵守等 (減点のみ)	※ ○○会社○○支店 ※ △△会社△△支店を除く	※ 該当なし又は-0点 ※ 該当なし又は-0点
評定点合計	※ ○○会社○○支店 ※ △△会社△△支店を除く	※○○点/100. 0点 ※○○点/100. 0点

※ 共同企業体の構成員によって異なる指名停止等の措置をとった場合に限り、構成員毎に評定点を通知する。

工事技術的難易度項目別評価表

大項目	評価	小項目	評価
1. 構造物条件		①規模	
		②形状	
		③その他	
2. 技術特性		①工法等	
		②その他	
3. 自然条件		①湧水・地下水	
		②地質	
		③地形・ヤード	
		④気象・海象	
		⑤その他	
4. 社会条件		①地中障害物	
		②近接施工	
		③騒音・振動	
		④水質汚濁	
		⑤工事区域	
		⑥作業用道路・ヤード	
		⑦供用規制	
		⑧その他	
5. マネジメント特性		①他工区調整	
		②住民対応	
		③関係機関対応	
		④工程管理	
		⑤品質管理	
		⑥安全管理	
		⑦その他	
工事区分			
「易、やや難、難」評価			
工事難易度評価 (I ~ VI)			